

海外日本語教育機関等の声

～「渡日前入学許可」促進のために～

Admission
Before the
Visit to Japan



目 次

ごあいさつ	1
海外の日本語教育機関等の紹介	
ワセダ日本語学院(韓国) 院長 金文子	2-3
ドンズー日本語学校(ベトナム) 校長秘書 伊藤晴彦	4-5
帝京マレーシア日本語学院(マレーシア) 副校長 炭谷憲一	6-7
新モンゴル高等学校(モンゴル) 校長 Janchiv Galbadrakh	8-9
上記機関を卒業し日本の大学に入学した外国人留学生の体験談	
一橋大学商学部2年 朴賢我(韓国)	10-11
東京工業大学工学部1年 Nguyen HuuQuy(ベトナム)	12-13
大阪産業大学人間環境学部1年 Teo SiewYing(マレーシア)	14-15
千葉大学法経学部1年 Erdenemaam Maisuren(モンゴル)	16-17
平成19年度入試における日本留学試験利用渡日前入学許可実施状況について	18-19
日本留学試験を利用した渡日前入学許可実施大学一覧	20

ご あ い さ つ



日頃より本機構の事業実施にあたりましては、ご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、日本留学試験は、海外の日本留学希望者が、渡航しなくとも自国で日本の留学希望先の大学等の入学許可を得ることができる「渡日前入学許可」を、より一層促進していくことを目的の一つに開始されました。

平成19年10月現在、日本留学試験を活用して渡日前に入学許可を出している大学は62校となり、本試験を開始した平成14年度当時の34校に比べ大きく増えました。しかしながら、外国人留学生を多数受け入れている大学等においても大半でまだ「渡日前入学許可」が実施されていないのが現状です。

「渡日前入学許可」につきましては、政府レベルの審議機関でも大きく取り上げられており、最近では「骨太の方針2007」、アジアゲートウェイ戦略会議や教育再生会議でも「渡日前入学許可」の普及が謳われるなど、今後の我が国の留学生政策の重要なキーワードともなっております。

このたび、初めての試みとして、海外において日本の大学への「渡日前入学許可」を得て、日本への留学の実績をあげている日本語教育機関の皆様から、機関の紹介とともに「渡日前入学許可」の拡充を求める生の声を頂戴しました。これら機関を卒業した現役の留学生の皆様との体験談も併せて収録し、ここに『海外日本語教育機関等の声～「渡日前入学許可」促進のために～』を刊行いたしました。

なお、本機構では、私費外国人留学生学習奨励費の大学への割当てに際し、平成20年度から、「渡日前入学許可」実施大学には重点配分をさせていただき措置も講じる予定です。

また、昨年度も申し上げましたが、本機構では、日本留学試験の実施日に海外の全ての試験会場において「渡日前入学許可」実施大学等の募集案内やパンフレットを配付しております。さらに本機構の各海外事務所(インドネシア、韓国、タイ、マレーシア)を面接試験会場として無料で提供させていただいております他、「渡日前入学許可」実施大学を重点的に広報しております。

「渡日前入学許可」にご関心のある大学は、本冊子をご覧くださいとともに、本機構に遠慮なくご相談くださるようお願いいたします。

平成19年10月

独立行政法人 日本学生支援機構
理事 籾 島 則 和